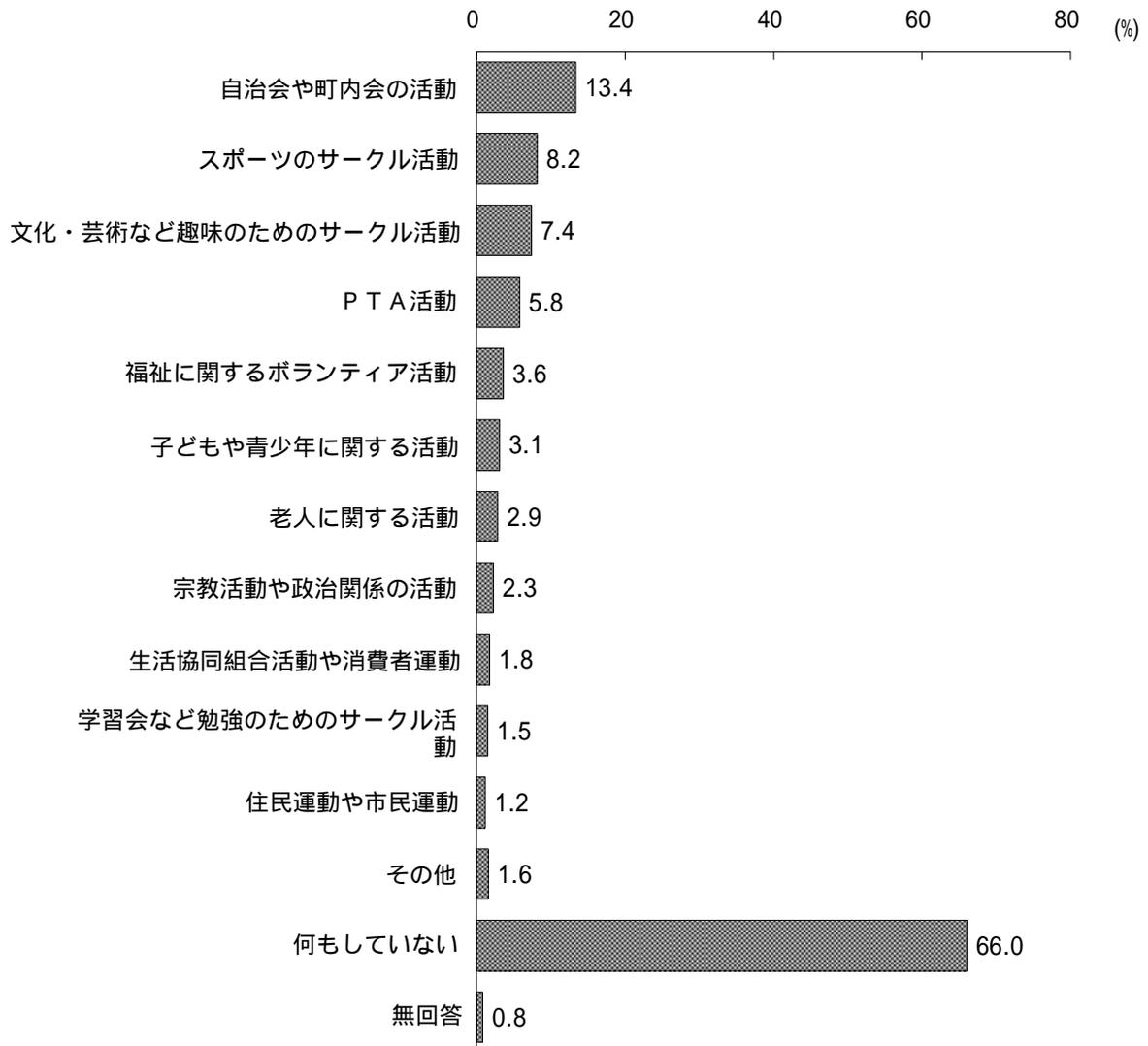


3. 地域活動への参加

(1) 地域活動への参加状況

問5 あなたは現在、地域で、次にあげるような活動をしていますか。次の中からいくつでも選んでください。(いくつでも)

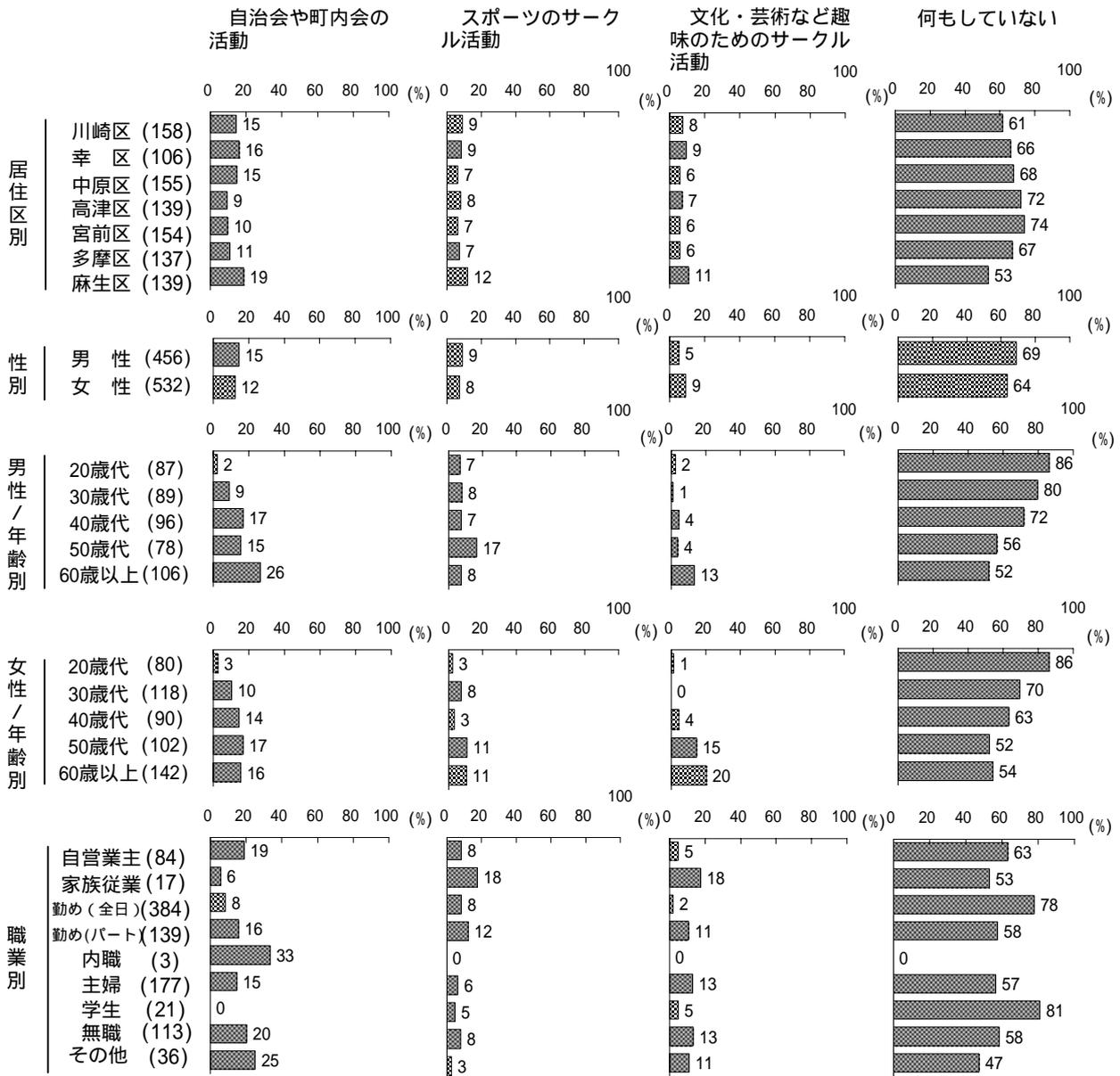
図 5 - 1



【全体 = 988】

現在の地域活動への参加状況では、「何もししていない」(66.0%)を除いて、第1位が「自治会や町内会の活動」(13.4%)である。次いで「スポーツのサークル活動」(8.2%)、「文化・芸術など趣味のためのサークル活動」(7.4%)、「P T A 活動」(5.8%)となっている。以下、「福祉に関するボランティア活動」(3.6%)、「子どもや青少年に関する活動」(3.1%)、「老人に関する活動」(2.9%)などと続いている。

図 5 - 2 居住区別 / 性別 / 性・年齢別 / 職業別 (上位3項目 + 何もしていない)



居住地区別では、「何もしていない」を除いて、すべての地区で「自治会や町内会の活動」が最も多くなっている。麻生区は上位3項目で他の地区と比べて地域活動への参加が多くなっている。

性・年齢別では、「自治会や町内会の活動」は年齢が高い方が地域活動への参加が多くなっている。また、「何もしていない」は若い年齢で多い傾向がある。

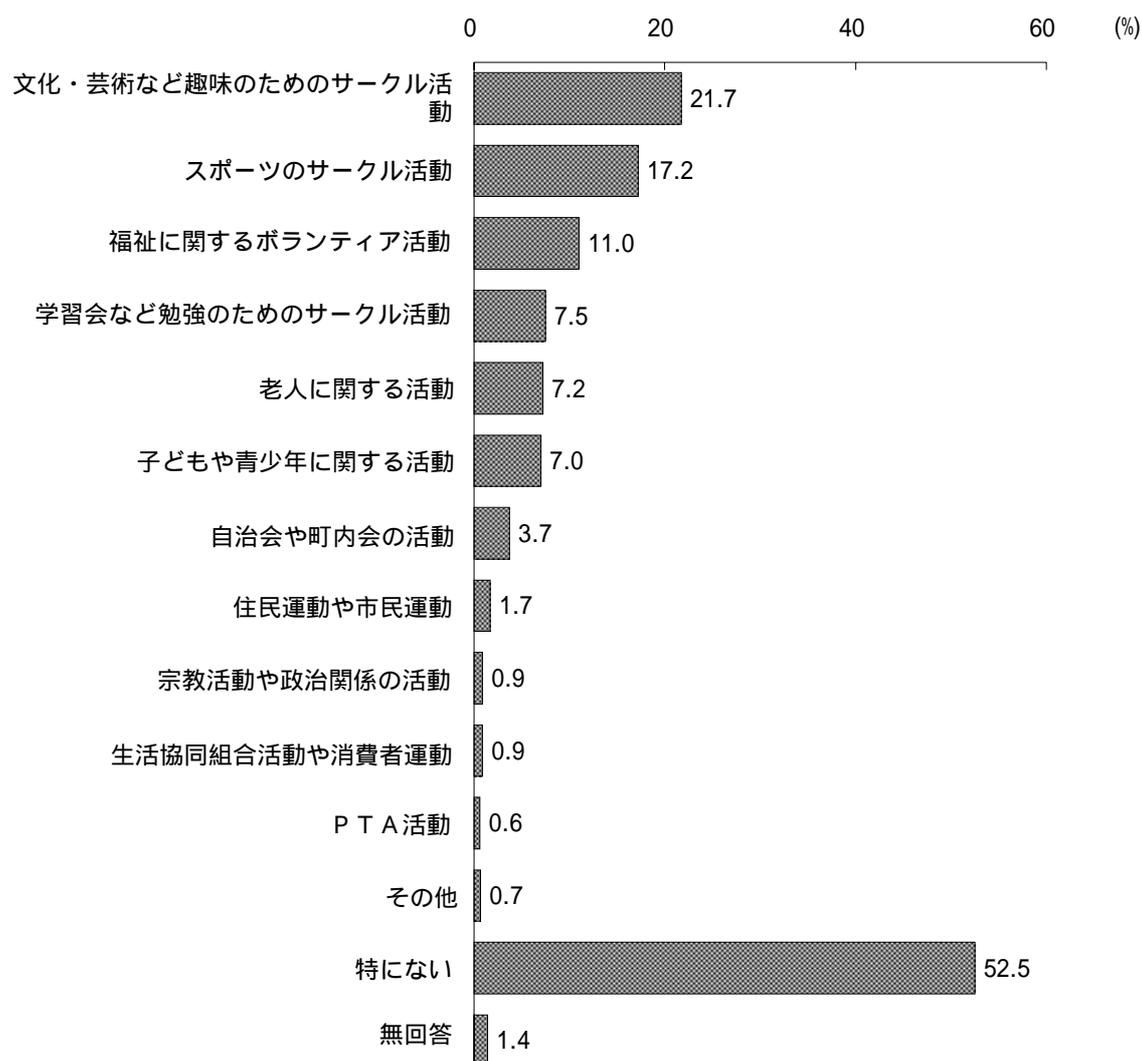
職業別では、家族従業を除いたすべての職業で「自治会や町内会の活動」が最も多くなっている。家族従業は「スポーツのサークル活動」、「文化・芸術など趣味のためのサークル活動」が他の項目よりも多くなっている。

(印の記号は、サンプル数が少ないのでコメントを省略)

(2) 今後やってみたい活動

問6 今後、地域でやってみたい活動はありますか。次の中からいくつでも選んでください。
(いくつでも)

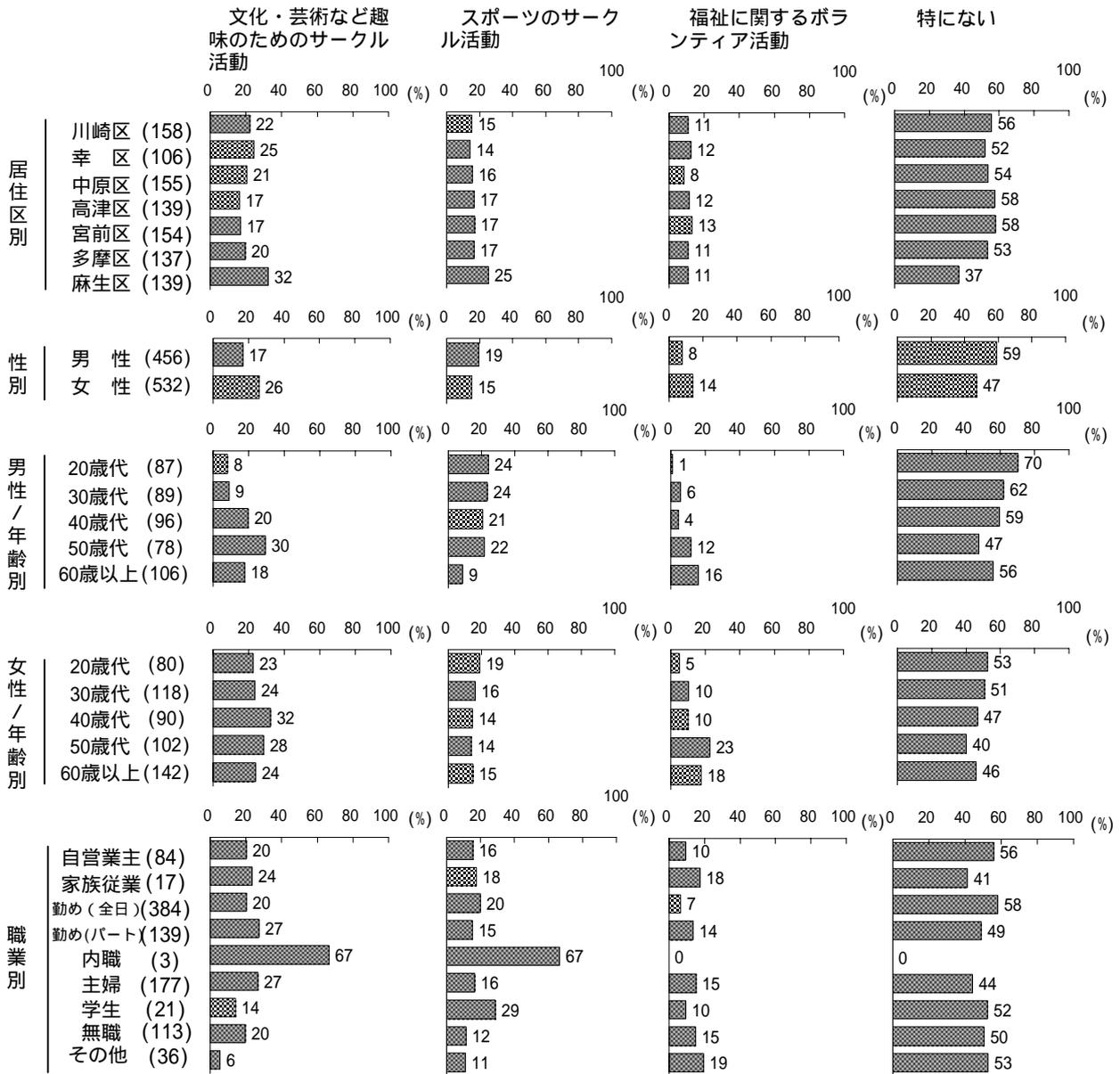
図 6 - 1



【全体 = 988】

今後、地域でやってみたい活動では、「特にない」(52.5%)を除いて、第1位が「文化・芸術など趣味のためのサークル活動」(21.7%)、第2位が「スポーツのサークル活動」(17.2%)、第3位が「福祉に関するボランティア活動」(11.0%)である。次いで「学習会など勉強のためのサークル活動」(7.5%)、「老人に関する活動」(7.2%)、「子どもや青少年に関する活動」(7.0%)が僅差で並んでいる。以下、「自治会や町内会の活動」(3.7%)、「住民運動や市民運動」(1.7%)などと続いている。

図 6 - 2 居住区別 / 性別 / 性・年齢別 / 職業別 (上位3項目 + 特にない)



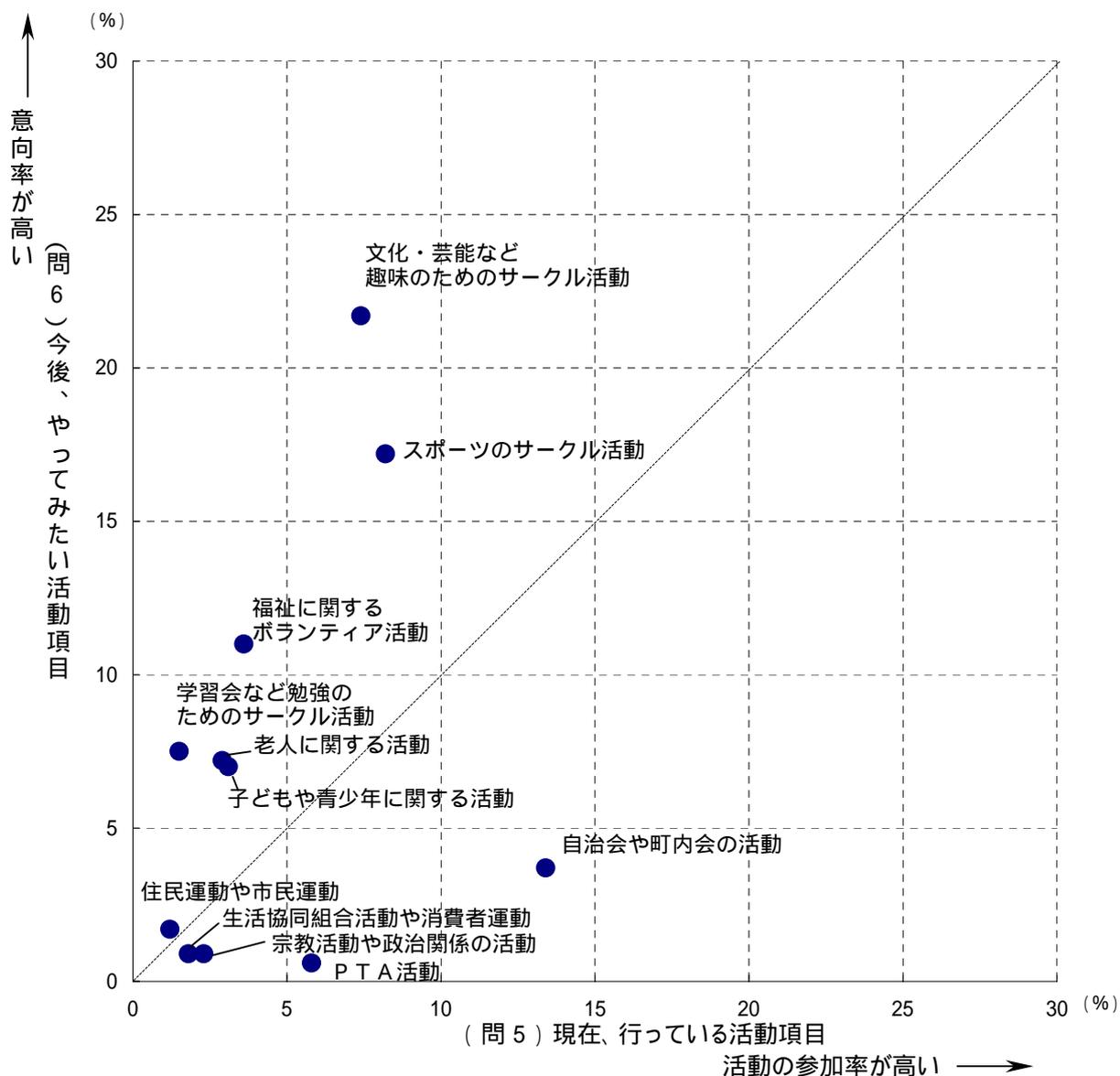
居住地区別では、「特にない」を除いて、すべての地区で「文化・芸術など趣味のためのサークル活動」が最も多くなっている。

性・年齢別では、「特にない」を除いて、男性50歳以上と女性のすべての年齢で「文化・芸術など趣味のためのサークル活動」が最も多く、男性20歳から40歳代は「スポーツのサークル活動」が最も多くなっている。

職業別では、「特にない」を除いて、すべての職業で「文化・芸術など趣味のためのサークル活動」が最も多くなっている。

(印の記号は、サンプル数が少ないのでコメントを省略)

図 6 - 3 「現在、行っている活動項目」と
「今後、やってみたい活動項目」



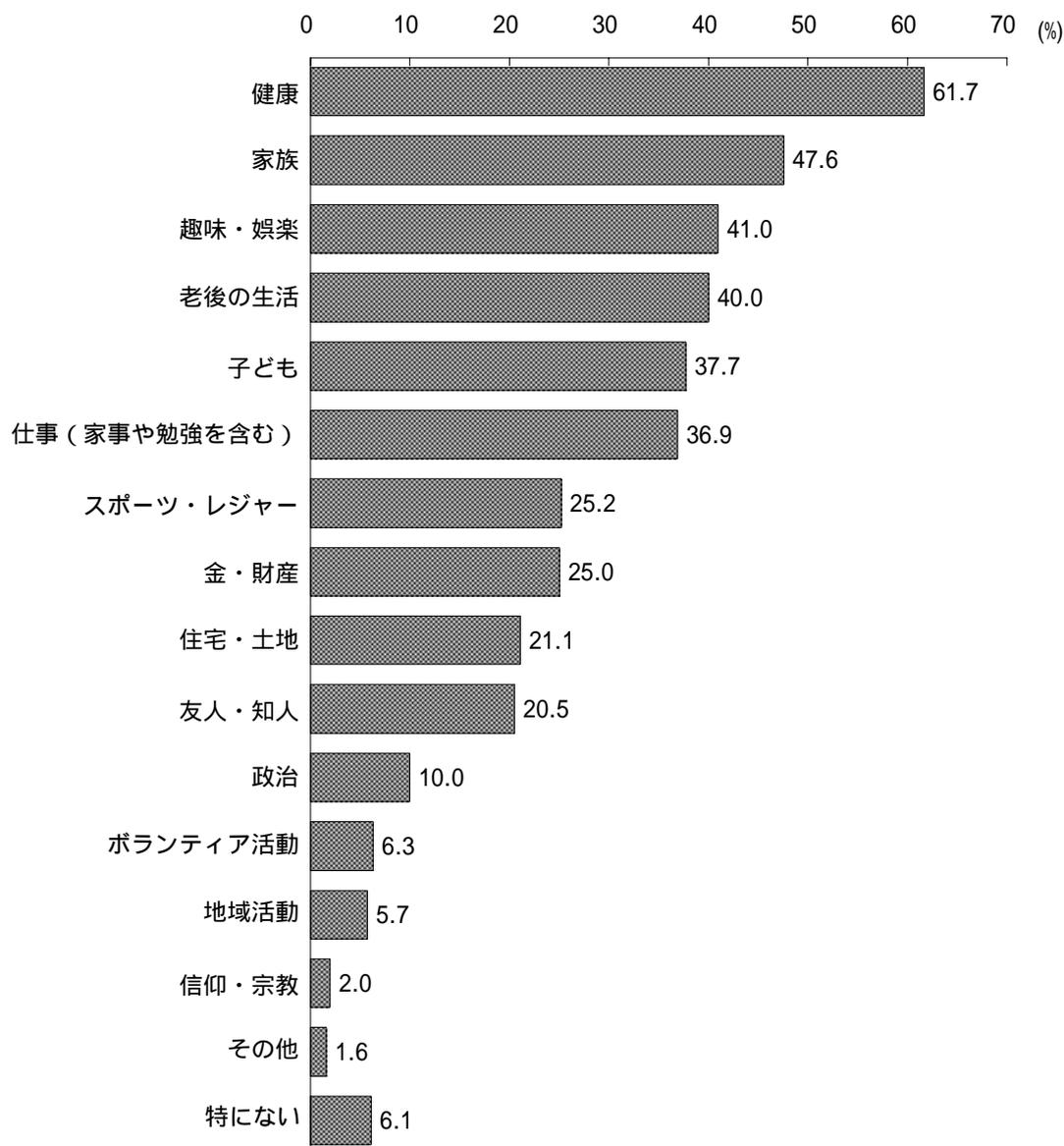
『現在、行っている活動』と『今後、やってみたい活動』を比較すると、『現在、行っている活動』の上位3位のうち、「文化・芸能など趣味のためのサークル活動」、「スポーツのサークル活動」は、『今後、やってみたい活動』の第1位、第2位に位置付けされている。

4. 市民の関心事と行動範囲

(1) 今一番の関心事

問7 あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(いくつでも)

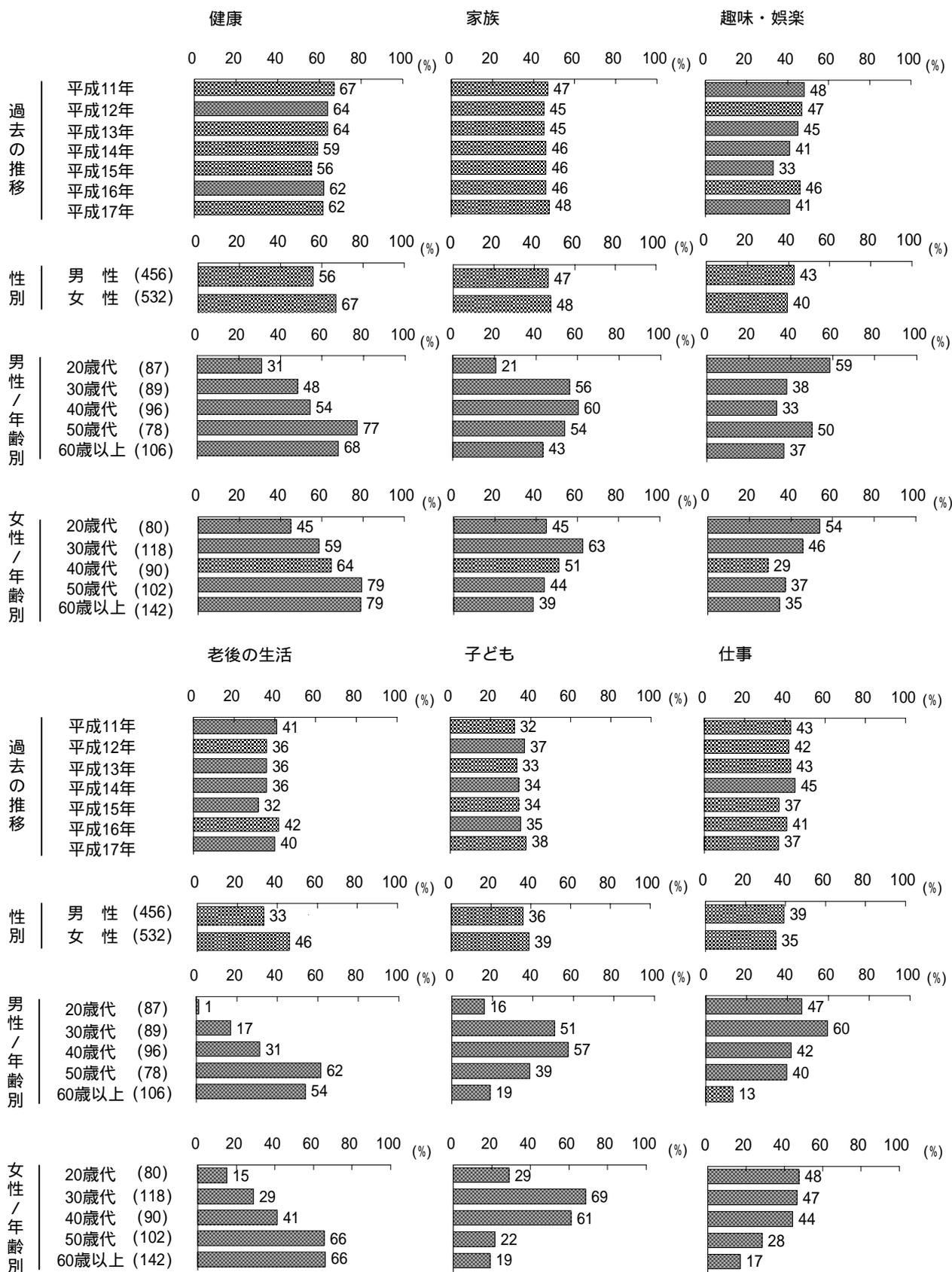
図 7 - 1



【全体 = 988】

現在の関心事をたずねたところ、「健康」(61.7%)が最も多く、次に「家族」(47.6%)となっている。次いで「趣味・娯楽」(41.0%)、「老後の生活」(40.0%)、「子ども」(37.7%)、「仕事(家事や勉強を含む)」(36.9%)が僅差で並んでいる。以下、「スポーツ・レジャー」(25.2%)、「金・財産」(25.0%)などと続いている。

図 7 - 2 過去の推移 / 性別 / 性・年齢別 (上位 6 項目)

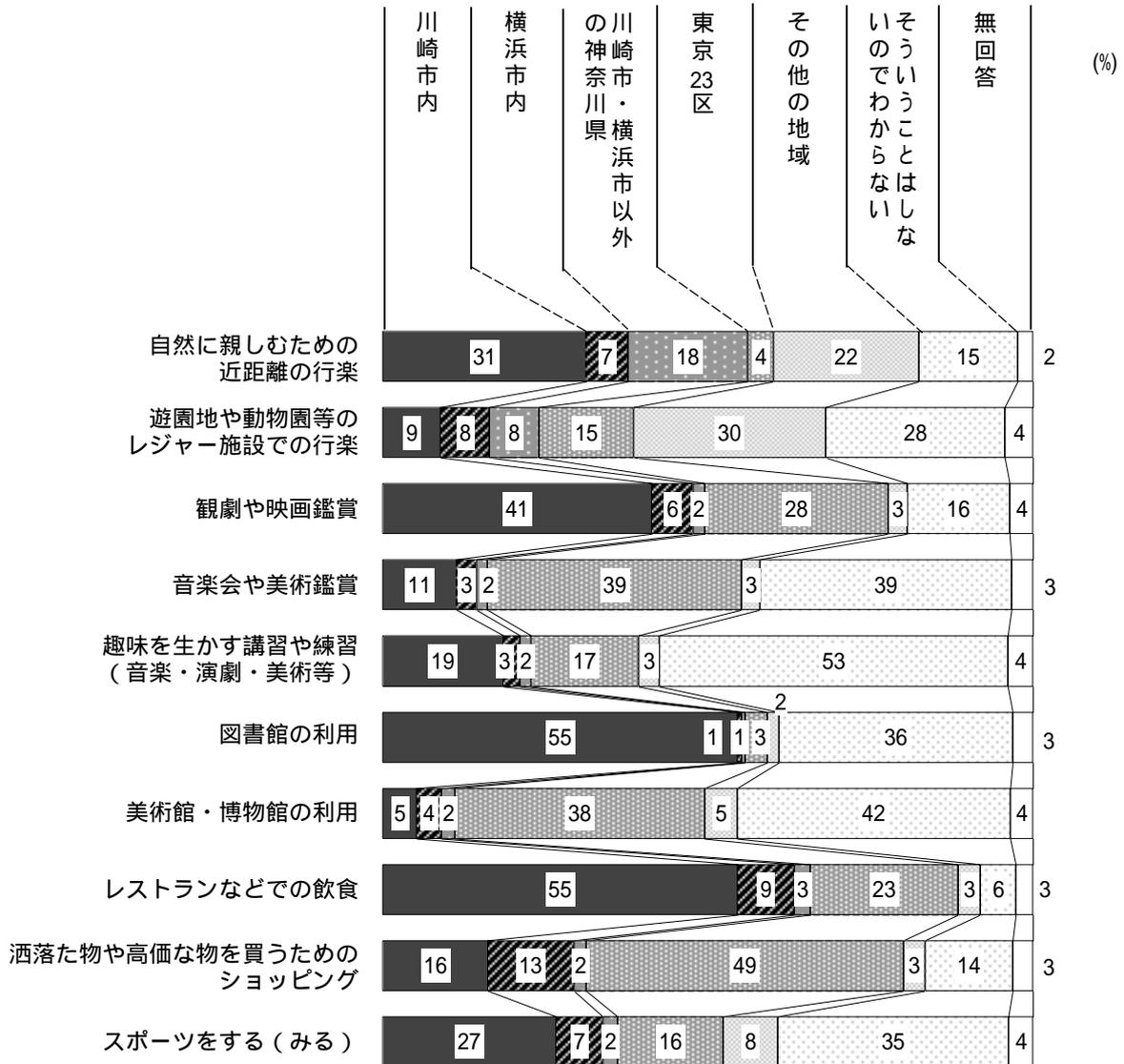


現在の関心事の上位 6 項目で、過去の推移をみると上位 4 位までは変動はなく、「子ども」・「仕事」の順位 (第 5 位、第 6 位) が昨年度と入れ替わっている。性・年齢別では、「健康」は年齢が高い方が関心度も高い傾向がある。「家族」は男女ともに30歳から40歳代の関心度が他の年齢に比べて高い。

(2) 市民の行動範囲

問8 あなたは、行楽や文化施設の利用・ショッピングなどをされる場合、主にどこに行かれますか。それぞれの項目について、ふだん、主に行かれる場所を1つだけ選んでください。(各項目ごとにあてはまる番号を1つだけ)

図 8 - 1



【全体 = 988】

川崎市民の行動範囲で、「図書館の利用」、「レストランなどでの飲食」は川崎市内でする行動の割合が最も多く、ともに55%を占めている。また、「自然を楽しむための近距離の行楽」、「劇場や映画鑑賞」についても川崎市内の割合が多い。一方、「洒落た物や高価な物を買うためのショッピング」は東京23区に行く割合が最も多く、49%を占めている。

市民の行動範囲、10項目中「遊園地や動物園等のレジャー施設での行楽」を除いては川崎市内又は、東京23区内の割合の多いことから、分類すると以下の様になる。

「川崎市内型」 …………… (ア) 自然に親しむための近距離の行楽
(カ) 図書館の利用
(ク) レストランなどでの飲食

「東京都23区内型」 ……… (エ) 音楽会や美術鑑賞
(キ) 美術館・博物館の利用
(ケ) 洒落た物や高価な物を買うためのショッピング

「非限定型」 …………… (イ) 遊園地や動物園等のレジャー施設での行楽
(ウ) 観劇や映画鑑賞
(オ) 趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)
(コ) スポーツをする(みる)

図8-2 行動の範囲(川崎市内と東京都23区の比較)

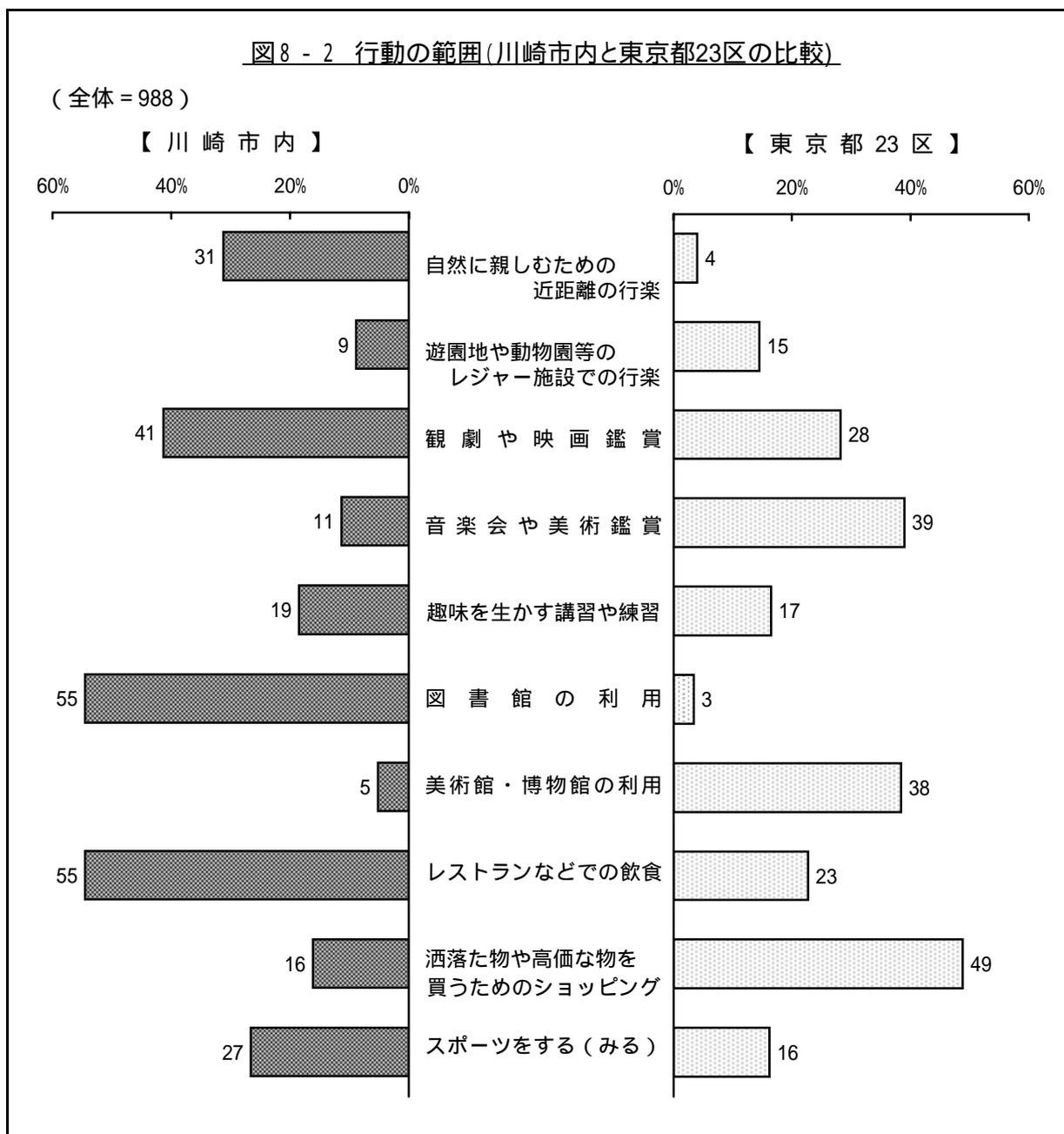
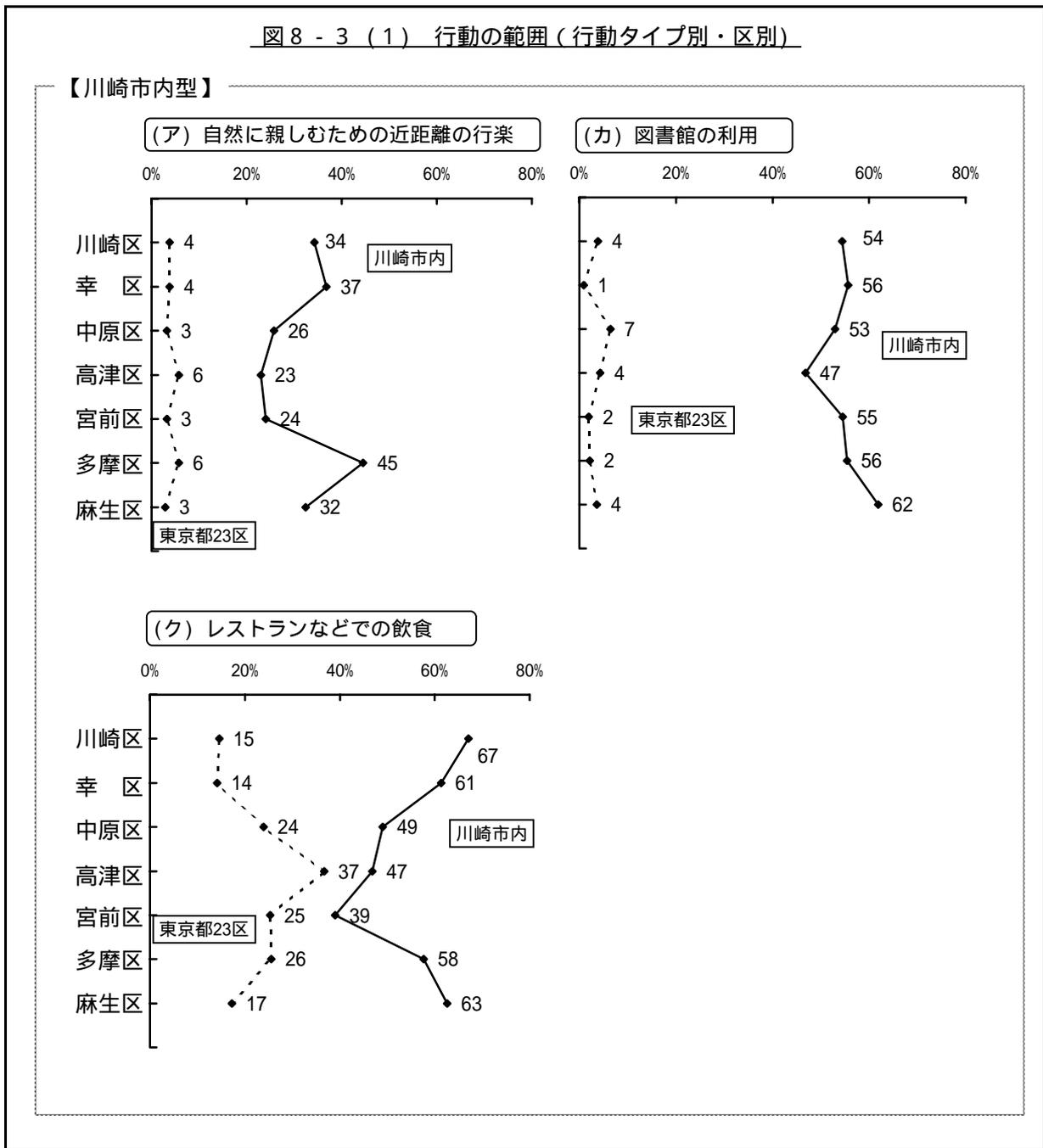
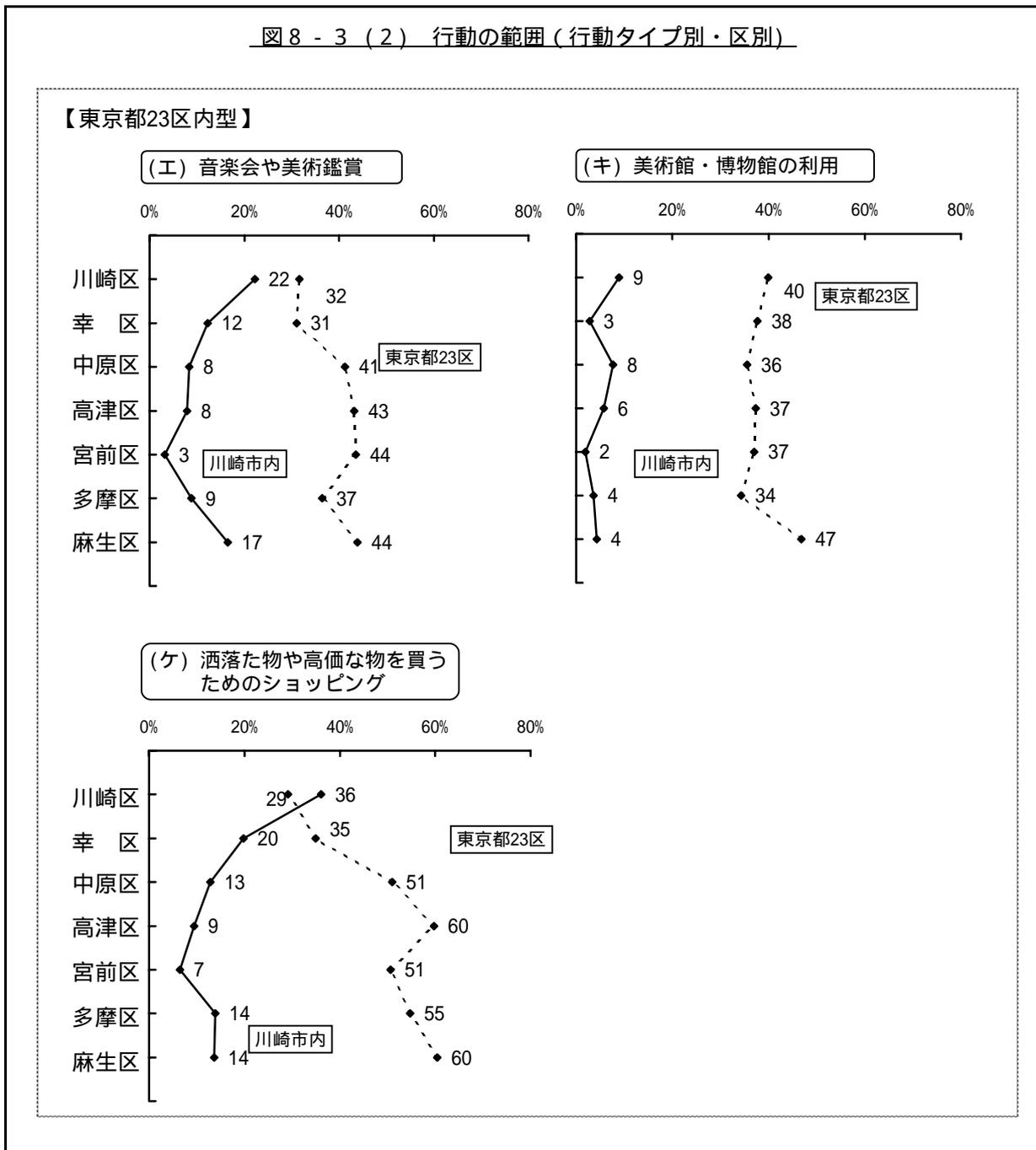


図8-3(1) 行動の範囲(行動タイプ別・区別)



川崎市内型の項目を居住区別に比較すると、「自然に親しむための近距離の行楽」は多摩区(45%)の市内利用率が最も高い。「図書館の利用」では麻生区(62%)が最も高く、「レストランなどでの飲食」では川崎区、幸区、麻生区が60%を上回り、川崎区の67%が最も高い市内の利用率となっている。

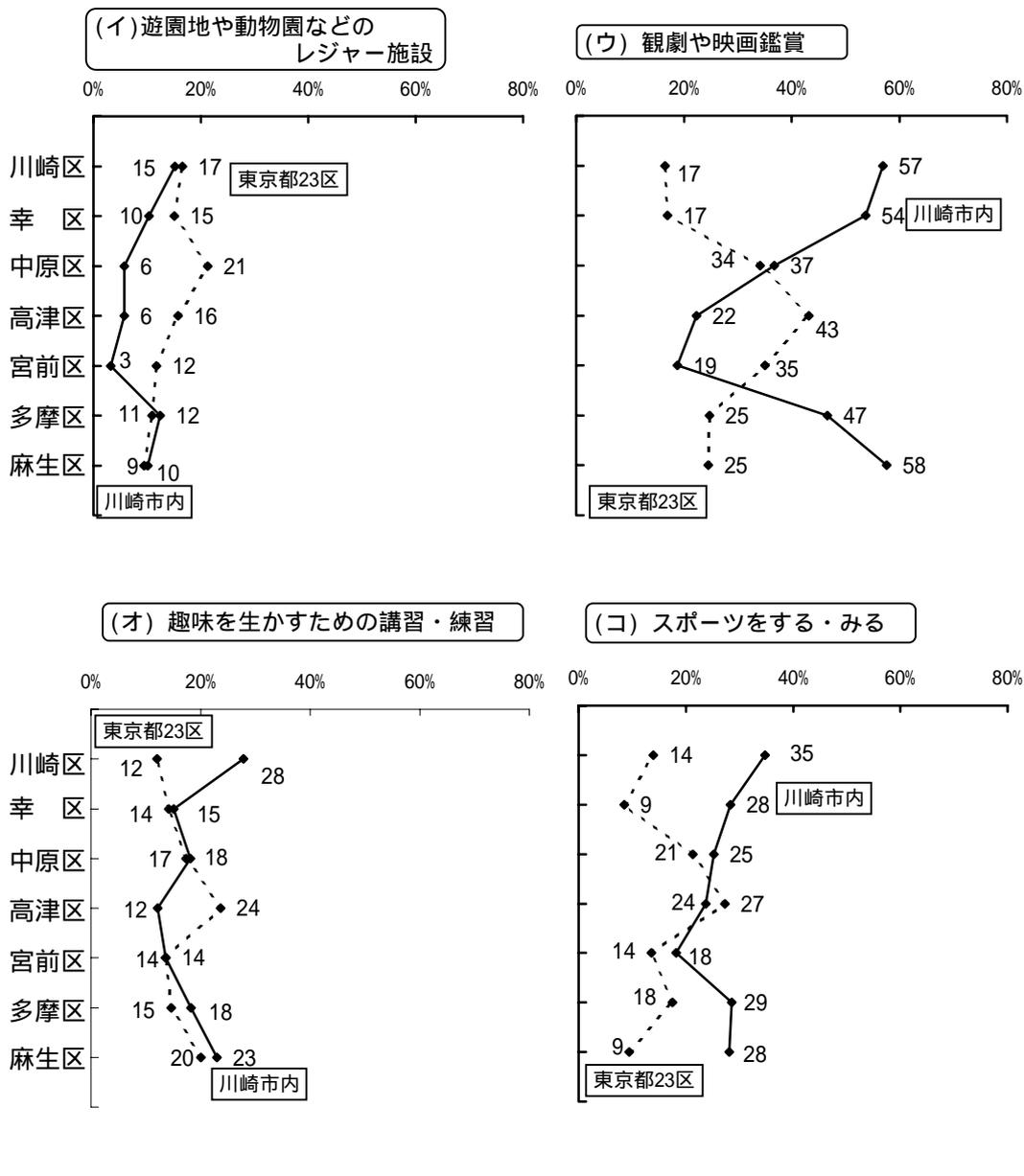
図8-3(2) 行動の範囲(行動タイプ別・区別)



東京23区内型の項目を居住区別に比較すると、「音楽会や美術鑑賞」は宮前区と麻生区が44%で東京23区の利用率が最も高く、「美術館・博物館の利用」においては、麻生区(47%)が他の区と比べて利用率が高くなっている。「洒落た物や高価な物を買うためのショッピング」は川崎区(29%)、幸区(35%)を除いた5区での東京23区の利用率はそれぞれ50%を上回っている。また、川崎区では、他の区とは反対に川崎市内での利用率が高くなっている。

図 8 - 3 (3) 行動の範囲 (行動タイプ別・区別)

【非限定型】



非限定型を居住区別に比較すると、「観劇や映画鑑賞」では、川崎区と麻生区の川崎市内の利用率が60%弱で、他の区に比べて高い。一方、高津区、宮前区は川崎市内での利用率よりも東京23区の利用率の方が高くなっている。「趣味を生かすための講習・練習」は川崎区が川崎市内の利用率が最も高く28%、高津区は川崎市内よりも東京23区の利用率の方が高くなっている。「スポーツをする・みる」においては、川崎区の川崎市内での利用率が35%で最も高く、幸区、麻生区は川崎市内の利用が28%であるが、東京23区内での利用率が10%を下回っている。また、この項目においても高津区は東京23区の利用率の方が高くなっている。